

# Minuma Shun Sai

# 色彩·向日葵

2025-26年冬号 vol.35

# 石井実生園 「蠟梅まつり」



### ▲石井克司さん

見沼区南中丸75番地  
TEL.048(684)2781



内では、蠅梅の切枝などを販売しています。

年1月中旬から2月上旬にかけて「蝱梅まつり」が行われます。園内の蝱梅の栽培本数は約1,000本で、うち約300本を蝱梅まつり会場でご鑑賞いただけます。開園時間は10時から16時です。入園は無料です。園

「美しく咲いた花をただ散らせてしまってはもったいない」との思想で、38年前から生産農場を一般に無料開放しています。

花木の生産農場である石井実生園では、冬の時期になると約300本のロウバイが園内を黄色く彩り、甘い香りが漂い、一足早い春の訪れを告げています。

# 冬のやさい料理

## 白菜のミルク煮

**白菜のミルク煮** いして水気を切り鍋の蓋をして弱火で蒸します。柔らかくなつたところで、トロミをつけるバター、小麦粉を追加、良く熱を通しながら、更に薄切りカブ、ツナ、エノキ、ミルクは煮詰めない程度に混ぜながらブイヨン、塩、コショウで、味を調えます。冬に必要な栄養素を短時間で、たくさん摂る事ができるのが利点です。



# 地域人ネットワークの菜の花プロジェクト

## 菜の花農業体験教室

2008年から毎年4月1日、県とNPO法人地域人ネットワークのホームページにて「菜の花農業体験教室」の参加者募集を行い、1年を通じいろいろな作物の栽培体験と、特に広い面積で菜の花栽培を18年間継続してきました。



▲ナタネの種蒔き

## 資源循環型農作物菜の花

なぜ「菜の花」なのか?それは種蒔から収穫までの栽培のほか、脱穀、精製、菜種油製作までの体験により農作業を知つてもらうこと、菜種油は食用以外にもバイオフューエルとして化石燃料の使用を減らし、油の搾りかすは畑の肥料として使われる資源循環型の農作物と知つてもらうことです。

## ナタネ栽培がCO2削減に?

昨年さいたま市の出前講座で「見沼田んぼのグリーンインフラの取り組み」の講演会を行いました。講演の中で興味を持ったのは、農地に栽培物の残渣を漉き込むことでCO2が固定され「カーボンマイナス」の取り組みになり得ることと、見沼田圃の農地におけるCO2吸収量の可視化です。

見沼田圃の農地におけるCO2吸収量の可視化は、公有地等の農地の土壤を採取し炭素量を測定し、その結果を可視化するとの事でした。

講演会のあと、さいたま市により菜の花教室農地で炭素固定量の測定作業が行われました。

私たちのナタネ栽培では、残渣はすべて畑に漉き込んでいます。収穫後7月から9

月まで2m近くに育つ緑肥「ソルガム」を栽培しこれも畑に漉き込んでいます。

更に炭素固定化できるよう「バイオ炭」も漉き込めば「ナタネ栽培がCO2削減に」となるかも?。



▲満開の菜の花

## 資源循環型農作物菜の花

なぜ「菜の花」なのか?それは種蒔から収穫までの栽培のほか、脱穀、精製、菜種油製作までの体験により農作業を知つてもらうこと、菜種油は食用以外にもバイオフューエルとして化石燃料の使用を減らし、油の搾りかすは畑の肥料として使われる資源循環型の農作物と知つてもらうことです。

## ナタネ栽培がCO2削減に?

昨年さいたま市の出前講座で「見沼田んぼのグリーンインフラの取り組み」の講演会を行いました。講演の中で興味を持ったのは、農地に栽培物の残渣を漉き込むことでCO2が固定され「カーボンマイナス」の取り組みになり得ることと、見沼田圃の農地におけるCO2吸収量の可視化です。

見沼田圃の農地におけるCO2吸収量の可視化は、公有地等の農地の土壤を採取し炭素量を測定し、その結果を可視化するとの事でした。

講演会のあと、さいたま市により菜の花教室農地で炭素固定量の測定作業が行われました。

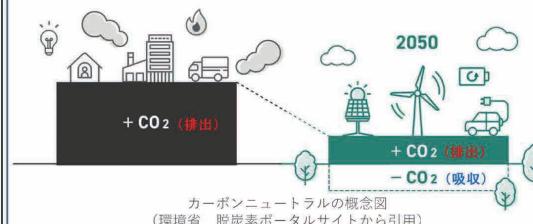
私たちのナタネ栽培では、残渣はすべて畑に漉き込んでいます。収穫後7月から9

### 3. 見沼田圃のカーボンニュートラル

#### ・ カーボンニュートラルって何?

「カーボンニュートラル」は、CO2をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。

カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減だけでなく、吸収作用の保全及び強化する必要があると言われています。



カーボンニュートラルの概念図  
(環境省 脱炭素ポータルサイトから引用)

### 3. 見沼田圃のカーボンニュートラル

#### ・ 今どのような取り組みをしているのか。

##### ■見沼田圃グリーンカーボン推進事業

###### <事業背景>

- ①見沼田圃は農地が全体の約4割を占める。
- ②休耕農地や活用されない公有地が見られ、土地利用の推進が必要である。
- ③堆肥等の有機資材の投入や有機残渣のすき込み等により、農地にCO2が固定されるため、「カーボンマイナス」の取組になり得る。

###### <事業内容>

- ①見沼田圃の農地におけるCO2吸収量の可視化
- ②公有地を活用した炭素管理型農業の実証実験

###### <農地・草地土壤の炭素収支モデル>



▲さいたま市出前講座「見沼田圃のグリーンインフラの取り組みを見てみよう!」より

## MINUMA EVENT INFORMATION

### 2025年度 年末農産物即売会について

2025年12月26日(金)

10:00 ~ 13:00 (雨天決行) さいたま市役所東側ひろば

さいたま市内の青年農業者さんが育てた、正月用の新鮮な農産物の即売会を開催します。人気のあるシクラメン等の季節の花や、日頃見かけない珍しい農産物など、色とりどりに販売されます。おせち料理での縁起物、さいたま市特産の「くわい」も販売します。また、農家さんが搗いたのし餅も販売の予定です。



▲農産物即売会会場



▲新鮮野菜の販売

### 人と環境にやさしい講演会 「都市近郊の養蜂について」

2026年2月4日(火) 15:00

講師：養蜂家 豊田俊明さん

場所：下落合コミュニティセンター 4階 第2集会室



要旨:都市近郊の蜜源は意外に豊かです。蜜蜂は半径3km程の範囲を巡り、蜜・花粉を集めるので、公園の桜、民家の柿、蜜柑や枇杷、学校の秋桜・向日葵等は良い蜜源です。蜜蜂の群の構成は、女王蜂1匹、働き蜂2万匹(雌蜂)、雄蜂(春先の繁殖期のみに生まれ、蜜は集めない)です。点検は、最低でも2週間に1回行います。点検のポイントは女王蜂の産卵の確認、卵や幼虫の比率は正常か、ダニは増えていない

か等です。作業時には、防護服を着用し、燐煙器で煙を掛けます。

蜜蜂をめぐる環境と養蜂の自然の営みと仕組みについて講演します。

申込み先:見沼たんぼ地域ガイドクラブ 黒澤  
e-mail : kurosawa@peach.ocn.ne.jp  
FAX.048-687-5543

## オーガニック・ハーベスト丸山

## 30品目以上に上る野菜作りと幅広い農業経営

農地は自宅周辺の市街地内と見沼区・浦和区・緑区の見沼田んぼ内に28箇所。丸山さん夫婦と職員・パート併せて10名程度で、露地野菜約30品目を



▲丸山夫婦(中央)と職員



▲子供達の収穫風景



売場展示▶

生産しプロッコリー・レタス・白菜・さつまいも・里芋他をヤオコー、マルエツ、マミーマート、高島屋、そごう、またJA直売所、各地マルシェ、学校給食そして各種イベントでも販売しています。

そして小学校チャレンジスクールや中学生・高校生の農業体験も指導しています。例えば9月に

ジャガイモ植付けや秋野菜の苗を育て、11～12月には収穫まつりも開催しています。また20～30代の若者が農業に志を持ち仲間と共に楽しく儲かる農業を目指すこともサポートし、巣立ったメンバーも増えています。

同社は2006年に地産地消型農業を目指し設立し、2023年に株式会社として法人化。食育・環境・コミュニケーション・命の大切さを経営理念とし、楽しく儲かる農業を目指しています。「野菜作りは米作りや果樹栽培と比べ、楽で楽しい」とご夫婦揃って話されていますが、遊休農地を大量に借入し安定した生産を続けて来た道のりには幾多の困難もあったのでは。Hope Lights Our Way (農業で希望の道を照らしていきたい)を合言葉に頑張っています。

見沼区蓮沼1694 TEL.048-687-0140

現在の耕作地は約7haで28箇所

### 見沼のお店紹介! コーヒー・ギャラリー「やってるよ」

## 萬年寺の南隣り

『萬年寺』は、「見沼の干拓」の総指揮者・井澤弥惣兵衛為永が、「工事指揮所」を置いた寺院です。

その『萬年寺』の南隣りのコーヒー・ギャラリー「やってるよ」は、美味しいコーヒーと甘味、そして軽食が楽しめるお店です。お店は、15年ほど前から「やっているよ」とのことです。

## 素敵なギャラリー

また、お店の中の「ギャラリースペース」では、地域の方がたの趣味の絵や写真、手工芸作品などが展示・販売されています。

このあたり、見沼区片柳は田園環境がしっかりと残っているところで、さいたま市内で「最も素敵な田園地域」です。

見沼田んぼの散策の途中に立ち寄って、コーヒーなど楽しんではいかがでしょうか。



見沼区片柳1-158-2 TEL.048-687-3722

定休:火曜日

## 見沼田んぼの中心にある「みどり直売所」

## 17年前から続く老舗直売所

さいたま市緑区南部領辻の「緑のトラスト1号地」の前にある「みどり直売所」は、17年ほど前、故厚沢純子さんが地域のお仲間の皆さんたちと開設した直売所です。市街化調整区域のため、店舗が作れないとのことで、トラックの荷台を店舗にして始めた直売所です。(創設時の苦労がしのばれます。)

## 新鮮さが魅力の野菜・花など

直売所には新鮮な野菜、果実、米、仏花、草花など四季折々の商品が並びます。店の前には、テーブルと椅子が用意されています。直売所の皆さんのお人柄か、お客様との会話も弾み、いつもフレンドリーな雰囲気が醸し出されたコミュニティの場としても親しまれています。

## 見沼の豊かな景色も楽しみ

春には直売所の前の見沼代用水の桜、夏は緑のトラスト1号地の森、そして秋には見沼たんぼを横



切る並木道のメタセコイアの紅葉など、四季折々の風景の移ろいも楽しめます。

見沼たんぼを散策がてら中心地にある「みどり直売所」を訪れて見てはいかがでしょうか。

緑区辻地内 営業日:毎週土・日曜日(午前中)

バス:東浦和駅前からさいたま東営業所行き バス停・総持院下車3分



▲共同代表の大野さん



▲発酵黒胡麻鯖カレー



▲農家の畑

見沼・旬彩  
綺麗で多品種なシクラメンの生産販売の「猪原園芸」

交差点・宮ヶ塔西から近い道路沿いの大きな看板が目印です。50年以上にわたり、生産販売しています。父親からの2代目であり、30年前からシクラメン生産と販売を行い、現在、約50種の多品種を扱っており、昔ながらの在来種から新しい品種までお気に入りのお花を探すことができます。大きいサイズ8,000鉢とミニサイズ3,000鉢です。特に、今年の推薦品種は、紫系のフチドリの「ミニオンブランシュ」(Mignon Blanhe)と八重でピンク系の「プティムーラン」です。埼玉県が育成した芳香シクラメンの販売も行っています。今年は長い猛暑で花咲きが遅かったが、現在は順調に来ています。暑さ対策は品種改良等で対応しています。



見沼のお店紹介!

## カフェ「Three Little Birds(スリーリトルバード)」

大和田駅から見沼区役所に行く道沿い、区役所の少し手前に、深い海を思い起こすような青い外壁のお店があります。ここは杉原さんご夫妻が、長く地域で愛されてきたお肉屋さんだったご実家が閉店した後の店舗を、人が集まる場所をつくりたいとの思いからカフェとして改装しました。

お肉屋さん時代に人気だったお惣菜のレシピを生かしたというランチプレートは、スープと何種類もの野菜の副菜がたっぷりついて、やさしく懐かしい味わい。風の谷農場のマイクロリーフなど、地元の野菜も積極的に取り入れています。コーヒーや各種のお茶、ジュースなどのドリンク類も豊富で、丁寧に淹れられた一杯と手作りケーキで一休みするのもお薦めです。

店名はレゲエのボブ・マーリーの「Three Little Birds」から。心配しないで大丈夫、どんなことだってなんとかなるものさ、と明るく歌うこの曲のような心地よい暖かさを感じるお店です。お出かけの際は、貸切りの日もあるのでインスタグラムで確認すると安心です。



▲ミニオンブランシュ

ラメン生産と販売を行い、現在、約50種の多品種を扱っており、昔ながらの在来種から新しい品種までお気に入りのお花を探すことができます。大きいサイズ8,000鉢とミニサイズ3,000鉢です。特に、今年の推薦品種は、紫系のフチドリの「ミニオンブランシュ」(Mignon Blanhe)と八重でピンク系の「プティムーラン」です。埼玉県が育成した芳香シクラメンの販売も行っています。今年は長い猛暑で花咲きが遅かったが、現在は順調に来ています。暑さ対策は品種改良等で対応しています。

シクラメン関連の施設は、9棟のビニールハウスを含め、約800坪です。リピーターや口コミによる顧客が多く、贈答品や宅急便もかなりの割合です。ご夫婦と母親、パートの方でおこなっています。奥さんは、シクラメンの品質管理が上手であり、シクラメンの栽培にも長けています。

見沼区東宮下830

ご注文・お問い合わせTEL.048-683-2672

営業日:11月10日～12月31日

取扱品目:シクラメン8,000鉢(6号～8号鉢)、ミニシクラメン3,000鉢(2.5号～4号鉢)

## 見沼区堀崎町911-1

営業日:月～木10:00～18:00 (ランチ11:00～14:00)

予約・問い合わせ:インスタグラムから



▲ランチプレート

▲外観



▲店内

## 見沼たんぼの中心地域 高速道路「2ルート案」への意見募集が開始

## 5.ルートの「決定時期」は「未定」とのこと。(新聞報道)

6.11/5のさいたま市長等の「要望」では、「1ルートに絞ること」を要請

7.市民の皆さん、可能な方法で「意見の表明」をしてください。



## 高速道路計画に市民団体などから出されている主な意見 (参考)

## 1. 道路事業の必要性

- ① 浦和インターから1.8km、2分の高畠陸橋付近の新しいインターチェンジは、近すぎて危険で無駄。
- ② 新見沼大橋・有料橋の方も2026年には無料化する。新大宮バイパスまで無料でつながり、東西方向で交通渋滞の問題はなくなる。高速道路事業の必要性が分からぬ。

## 2. 道路事業の時間軸

- ① 完成が推計で30年後となると、その時の人口がどうなっているのか、渋滞が発生しているのか、費用対効果を踏まえ必要性を考えてほしい。
- ② 内閣府の調査によれば、一都三県の2050年に約3割の自家用車が減るという推計がでている。放置しても渋滞は緩和される。

## 3. 2ルートの問題点

## (1) 南側ルートの問題点

- ① 南側ルートでは、学校が2か所(野田小学校、浦和東高校)があり、高速道路の通過は、学校の教育環境を悪化させる。



- ② 南側ルートには、「萬年寺・照光寺」など、地域の歴史にとって重要な社寺があり、その風致環境の保全が必要。

## (2) 北側ルートの問題点

- ① 北側ルートには、消防署や大きな病院、歴史的建造物(旧坂東家住宅)など地域の暮らし・環境にとって重要な施設であり、この除却・移転は好ましくない。
- ② 北側ルートには、競馬場の馬のトレーニングセンターがあり、馬は神経質な動物であるため、全面移転が必要となるが、移転費用が大きく発生する。

## 4. 道路構造の問題について

- ① 既存の片側1車線の高速埼玉線の道路に、新設する片側2車線の新設道路を接続したときに、見沼出口IC付近で交通渋滞が発生する。
- ② 見沼出口から与野ジャンクションまでの地下部分を片側2車線に拡幅できるのか。車線を拡幅したときの費用の想定はあるのか。

## 5. 環境問題

- ① 見沼地区には、135か所の斜面林が残っているが、南側ルートには、斜面林に該当するところが多数(11か所)ある。道路が開通する場合、見沼たんぼの斜面林の1割がなくなってしまう。
- ② 北側ルートは見沼自然公園を通過し、公園には、さいたま市で絶滅したとされる絶滅危惧種の藻類が発見されている。

今号に掲載された、見沼たんぽ地域のお米・野菜・果物・花木 直売所等マップ



市民が応援する見沼たんぽ地域の人と環境にやさしい都市農業の広報誌  
**「見沼・旬彩」2025-26年 冬号 vol.35**

発行: 未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

<https://minuma-miraiisan.jp> e-mail: minuma@minuma-miraiisan.jp

バックナンバーはホームページよりご覧になれます。

編集: 見沼農業・応援連携部会 / デザイン・印刷: アームズ

発行日: 2025年12月10日

We  
Love  
Minuma



この見沼農業の応援連携・季刊誌「見沼・旬彩」は、公益信託 武蔵野銀行みどりの基金様、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟様からの助成金で印刷・発行しております。